

人形峠環境技術センター 総合管理棟火災に係る現地確認（第2回）結果

令和3年3月25日
鳥取県危機管理局原子力安全対策課
三朝町総務課危機管理局

- 1 日時 令和3年2月24日（水）午後1時～午後2時
- 2 場所 人形峠環境技術センター（岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550）
- 3 確認者 鳥取県職員2名、三朝町職員1名
- 4 対応者 人形峠環境技術センター 安全管理課長ほか
- 5 内容

（1）背景

令和2年11月9日に発生した人形峠環境技術センター（以下「センター」という。）の総合管理棟1階操作室（非管理区域）におけるエアコン工事中の火災（建物ぼや火災）について、同年12月23日に国立研究開発法人日本原子力研究開発機構から再発防止対策の報告があった。再発防止対策の実施状況について2月24日、環境保全協定に基づく、2回目の現地確認を鳥取県及び三朝町が合同で実施した。

（2）確認内容

センターから報告を受けた再発防止対策の実施状況について、現地において、関係者への聞き取り、書類・記録の確認、現場の確認を行った。

ア 是正措置

	是正措置	確認結果
直接的原因	<ul style="list-style-type: none">具体的な停電時の確認手順を明確にするよう作業手順書を見直す。見直した作業手順書を共有する。	<ul style="list-style-type: none">作業手順書に停電時の具体的な作業手順、使用器具、作業担当者の役割等を明記し、作業の要所にホールドポイントを設け、工程管理を行っている。見直した作業手順書について、センター作業担当者として請負業者で情報共有を行っている。
	<ul style="list-style-type: none">センターの安全作業基準文書（以下「安全作業基準」という。）で使用が定めている検電器具を使用するよう作業手順書を見直す。安全作業基準で定めている注意事項を作業手順書に盛り込み、共有する。	<ul style="list-style-type: none">安全作業基準で定めている注意事項（検電には検電器を用いる等）を作業手順書に盛り込み、センター作業担当者として請負業者で情報共有を行っている。
間接的原因	<ul style="list-style-type: none">作業を再開する際の停電措置の方法を作業手順書に具体的に定める。作業計画書に変更が生じた場合は作業を中断し、見直しを行って作業することを計画書に定める。	<ul style="list-style-type: none">作業を再開する際の停電措置の方法、作業計画に変更が生じた際の対応を作業計画書に定めている。

イ 未然防止措置

	未然防止措置	確認結果
	<ul style="list-style-type: none">作業手順書作成に必要な関連文書のチェックリストを整備し、安全作業基準に反映する。	<ul style="list-style-type: none">作業手順書作成に係る関連規則等を整理したチェックリストを改訂し、安全作業基準に反映している。
	<ul style="list-style-type: none">請負業者の教育資料に今回の事案を盛り込み、情報共有を図る。	<ul style="list-style-type: none">請負業者の教育資料に、本事案の内容（事故原因、再発防止対策、注意事項等）を盛り込み、情報共有を行っている。

ウ 水平展開

水平展開	確認結果
・当該事象の原因と対策を機構内に周知し、水平展開を図る。	・本事案の原因と対策について、機構本部から各拠点に水平展開（調査・検討指示、改善指示）を行っている。

6 今後の対応

今後は、再発防止対策が有効に機能していることを注視していく。